あなたの調査票には大切な未来がつまってます

10月1日(日)国勢　調査にご協力を

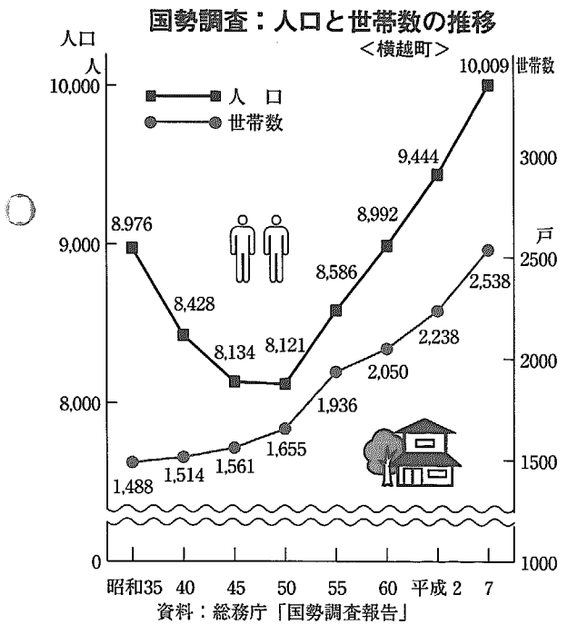
21世紀への基礎づくり　平成12年　国勢調査

10月1日、国勢調査が全国一斉に行われます。国勢調査は赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住んでいるすべての人が対象となり、住民票の届出に関係なく10月1日現在、ふだん住んでいる場所で、世帯ごとに調査をする大規模な統計調査です。

日本で最初に国勢調査が行われたのは大正9年。以来、概ね5年ごとに実施され、今年で17回目を迎えます。

この調査の目的は単に人口などを把握するためだけではありません。例えば、いま日本では少子化や高齢化が急ピッチで進んでいます。これからの少子・高齢社会に対応するためには、住宅・福祉・交通・雇用など様々な分野での対策が必要になります。

また、今回の調査は西暦2000年に実施する調査であることから、その結果は21世紀の日本の道筋を示す大変重要な役割を果たすことになります。そして、私たちの将来の生活を支えるためのデータになるものです。



資料：総務庁「国勢調査報告」

国勢調査Q&A

Q　調査員はどんな人？

A　調査票を配布、回収する国勢調査員は、市町村長の推薦により総務庁長官が任命する非常勤の国家公務員です。横越町では、各地の区長さんより46名の調査員を推薦していただきました。

Q　どうしても答えなければいけないの？

A　もしも、調査票が提出されなかったり、正しい申告がされなかったりすると、誤った統計になってしまいます。そうしたことを防ぐため、「統計法」という法律で、申告義務について規定しています。つまり、国勢調査に参加することは、私たちの義務の一つなのです。

Q　調査結果はいつ分かるの？

A　人口・世帯数の速報は、今年の12月に発表され、そのほかの集計結果は、来年以降、順次公表されます。結果をまとめた報告書は、都道府県・市区町村の統計担当課や図書館などで閲覧できます。また、総務庁統計局・統計センターのホームページ(http://www.stat.go.jp)でも見ることができます。

Q　ほかの国でも調査をしているの？

A　統計作成を目的とした同じような調査は、現在、世界約200の国・地域で行われています。特に今年2000年前後には、国際連合の勧告により、米国、中国、韓国、イギリスなど多くの国で国勢調査が実施されます。

簡単で安心です。調査内容。

調査票を持って調査員が伺います

まず、9月23日から30日までの間に、調査員が皆さまのご家庭を訪問し、調査票をお配りします。調査票が届きましたら、一緒にお渡しする「調査票の記入のしかた」をご覧の上、もれなく記入してください。記入する際には次の点に注意をお願いします。

・汚したり、折ったり、丸めたりしない。
・必ず黒鉛筆またはシャープペンシルで記入する。
・マークで記入する箇所は、あてはまる○を●のように塗りつぶす。
・文字や数字を記入する箇所はワク（　）からはみ出さいよう記入する。

調査項目は、世帯全員の男女の別、出生の年月、就業状況、通勤・通学地、住居の種類など全部で22項目です。

調査票は10月1日から9日までの間に調査員が回収に伺います。

調査票の配布

9月23日(土)
～9月30日(土)

10月1日　国勢調査

調査票の取集

10月1日(日)
～10月9日(月)

プライバシーは守られます

調査票に記入された内容を調査員や調査関係者がほかに漏らしたり、統計をつくる目的以外に使用することは法律で固く禁じられています。また、調査票は厳重に保管され、集計後はすべて溶かして再生紙として生まれ変わります。どうぞ安心して調査票にご記入ください。

結果は暮らしに活かされます

国勢調査の調査結果から様々な統計が得られますが、それらはこれからのまちづくりを考えていくうえでの大切な資料となり、私たちの暮らしの様々な分野で活かされます。例えば、お年寄りが暮らしやすいまちをつくっていくためには、住宅や福祉、医療の面でどういった対策が必要かを調査結果から探っていきます。この他にも将来人口の予測や議員定数を決めたり、都市計画や社会福祉計画、防災計画などを立てたりするときの基礎資料として活用されます。

あなたからご記入いただいた答えからつくられる統計が、みんなの貴重な財産となり、安心できる未来、より快適で住みよい日本、そして横越町を築くための道しるべとなります。

10月1日、国勢調査にぜひ皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

「かたり調査」にご注意を！

国勢調査と称して、家族構成や会社の従業員の名前を電話で照会する「かたり調査」にご注意ください。

※　調査票の記入方法などわからない点がありましたら、企画財政課（☎385－2111）までお尋ねください。